

江頭社長が退陣

チツソ 総会混乱の責任とる

チツソの江頭専社長は、このほど辞意を固め、代表権を持つ会長に就任、後任に島田賢一副社長が昇格することになった。近く臨時

取締役会を開き、正式に決定する。同社は水俣工場から出た工場廃液で多数の水俣病患者が発生、現



退陣した江頭社長



後任の島田副社長

在患者側から訴訟を起こされてお
り、五月の株主総会では一株株主
運動との対決で総会が大混乱に陥
り、世論のきびしい批判を浴びて
いた。このため、江頭社長はかね
てから辞意を表明していたが、こ
のさい社長の交代により、人心を
一新して、無配に追い込まれてい
る同社の経営再建に取り組むこと
になった。

島田賢一（しまだ・けんいち）
氏 昭和九年三月東京商大卒、同
年四月日本窒素肥料入社、三十四
年五月新日本窒素取締役、三十八

年五月同社常務、四十一年五月チ
ツソ専務、四十二年十一月副社
長。六十一歳。和歌山県田辺市出
身。

新社長は責任もて

水俣病患者家族の一人、田中義
光さん（この話 これまでの問題
を片付けないでやめるのは男らし
くないのではないか。五月の株主
総会ではガードマンを雇い、新患
者もほとんど出たので、おびえた
のではないか。新社長も「私は知
らない」と逃げるようでは困る。
責任をもって解決するようにして
ほしい。